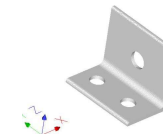


hinge

2014年9月19日  
第14回FrontISTR研究会

# 目次

- ▶ ねらい
- ▶ 入力データの確認
  - ▶ 計算サーバ上のファイル
  - ▶ REVOCAPの利用
- ▶ 線形静解析
  - ▶ 逐次解析
  - ▶ 並列解析（領域分割を含む）
  - ▶ 結果の確認
- ▶ 固有値解析
  - ▶ 逐次解析（←時間がかかるのでハンズオンでは実施しません）
  - ▶ 並列解析（領域分割を含む）
  - ▶ 結果の確認



# ねらい・入力データの確認

- 比較的小規模な例題を用いて一連の計算手順を体験する
  - 84,056節点、49,871要素、四面体2次要素

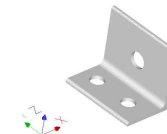
ファイルの中味に関する説明は、スライド「はじめてのFrontISTR」を参照のこと

## ■ 計算サーバ上のファイル

- hinge/P01（逐次計算用）、hinge/P04（4並列計算用）
- FrontISTRの入力データ、実行シェルスクリプト
- パーティショナの入力データ、実行シェルスクリプト
- hinge.cnt\_staticやhinge.cnt\_eigenは、hinge.cntという名前のファイルにコピーして用いる

## ■ REVOCAPの利用

- WinSCPを用いて、端末PCに foo.mshとfoo.cntを転送
- REVOCAPを用いて、モデル形状、メッシュ、境界条件等を確認



# 線形静解析 (1/3)

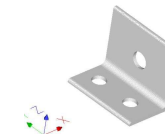
## ■ 逐次解析

### ■ 計算サーバ上のファイル hinge/P01

- FrontISTRの入力データ hecmw\_ctrl.dat, hinge.msh, hinge.cnt
- FrontISTRの実行シェルスクリプト run\_fistr.sh
- hinge.cnt\_**static**をhinge.cntという名前のファイルにコピーして用いる

## ■ 計算実行

```
cd ~guest01/hinge/P01
cp hinge.cnt_static hinge.cnt
./run_fistr.sh
```

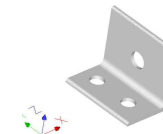


# run\_fistr.sh FrontISTRの実行スクリプト

## 逐次計算

```
#!/bin/sh  
/usr/local/fistr/bin/4.2/fistr1.serial
```

実行モジュール名(逐次版)



# 線形静解析 (2/3)

## ■ 並列解析

### ■ 計算サーバ上のファイル hinge/P04

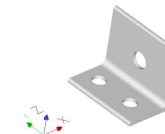
- パーティショナ関係 hecmw\_part\_ctrl.dat ←分割数を指定する
- パーティショナの実行シェルスクリプト run\_part.sh
- FrontISTRの入力データ hecmw\_ctrl.dat, hinge.msh.0~3, hinge.cnt
- FrontISTRの実行シェルスクリプト run\_fistr.sh
- MPI並列計算のためのマシンファイル machines

### ■ パーティショナの実行

```
cd ~guest01/hinge/P04  
./run_part.sh
```

### ■ 計算実行

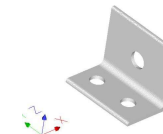
```
cd ~guest01/hinge/P04  
cp hinge.cnt_static hinge.cnt  
./run_fistr.sh
```



# run\_part.sh パーティショナの実行スクリプト

```
#!/bin/sh  
/usr/local/fistr/bin/4.2/hecmw_part1.serial
```

実行モジュール名



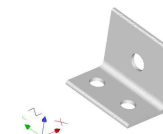
# run\_fistr.sh FrontISTRの実行スクリプト

## 並列計算

```
#!/bin/sh  
/usr/local/openmpi-1.4.1-intel64-v11.1.064/bin/mpirun  
-np 4 -machinefile machines /usr/local/fistr/bin/4.2/  
fistr1.openmp
```

実行モジュール名

PBSを用いずに、machinefileで並列計算に用いるノードを記述している例。



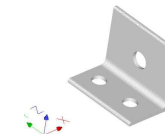


# 線形静解析 (3/3)

## ■ 結果の確認

## ■ REVOCAPの利用

- WinSCPを用いて、端末PCに以下のファイルを転送
  - foo.cnt
  - foo.msh 全体領域のメッシュ
  - foo.res.XX.X 全体もしくは部分領域の結果ファイル
  - foo.inp UCDフォーマットの結果ファイルもしくは領域分割図
- 変形図
- 応力コンター図
- 領域分割図
- 断面表示
- 部分領域のみの表示
- 変形アニメーション

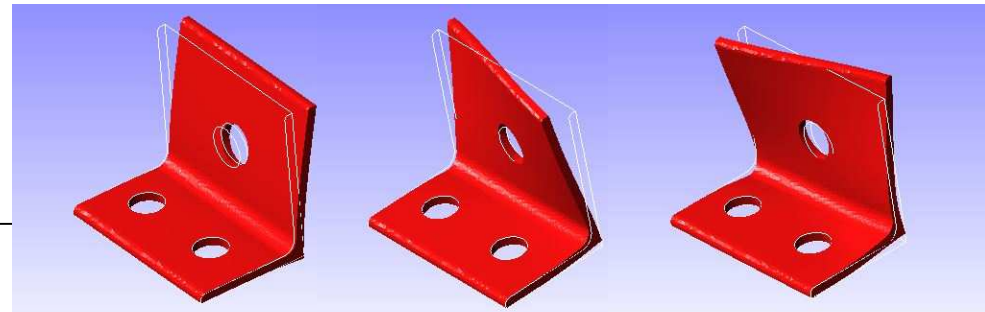


# 固有値解析

- 逐次解析、並列解析 基本的に線形静解析と同じ手順
- 計算サーバ上のファイル hinge/P01 hinge/P04
  - hinge.cnt\_eigenをhinge.cntという名前のファイルにコピーして用いる

hinge.cnt

```
:  
:  
!SOLUTION, TYPE = EIGEN ←固有値解析を指定  
!EIGEN  
3, 1e-007, 60 ←固有値を3個求める  
:  
:
```



- プロセッサ数を変えて計算時間を測定する P8/ など

hinge

